

# テラス囲い 横引き収納網戸 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

## ■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡してください。

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。  
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意



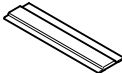


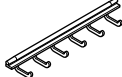
- レールの両面テープの接着力が低下し、網戸脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・取付け前に床を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
  - ・レールを一度固定したら張直ししないでください。
  - ・レールは取付け面に強く押付け、必ず圧着してください。
  - ・接着効果を確保する為に、24時間放置してください。
  - ・収納枠取付け後、収納枠を引き、外れないことを確認してください。

## ■取付け上のお願い

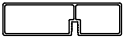

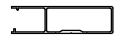




- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 取付けおよびご使用上の注意事項は、「テラス囲い本体 取付け説明書」冒頭に記載してありますので必ずお読みください。

## ■梱包明細表

### ●横引き収納網戸セット

名 称	略 図	名 称	略 図
横引き収納網戸(本体)		網戸ストッパー	
レール(樹脂)		ブラシストッパー	
上枠キャップ		トラスタッピンねじφ4×16	—
		取付け説明書	—
		取扱い説明書	—
下がり止めブラシ			

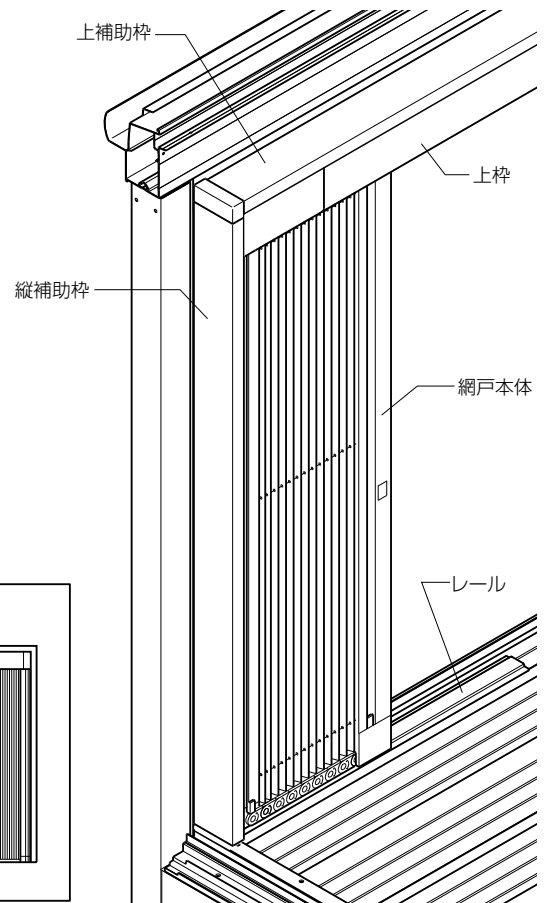
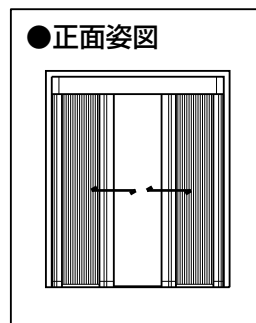
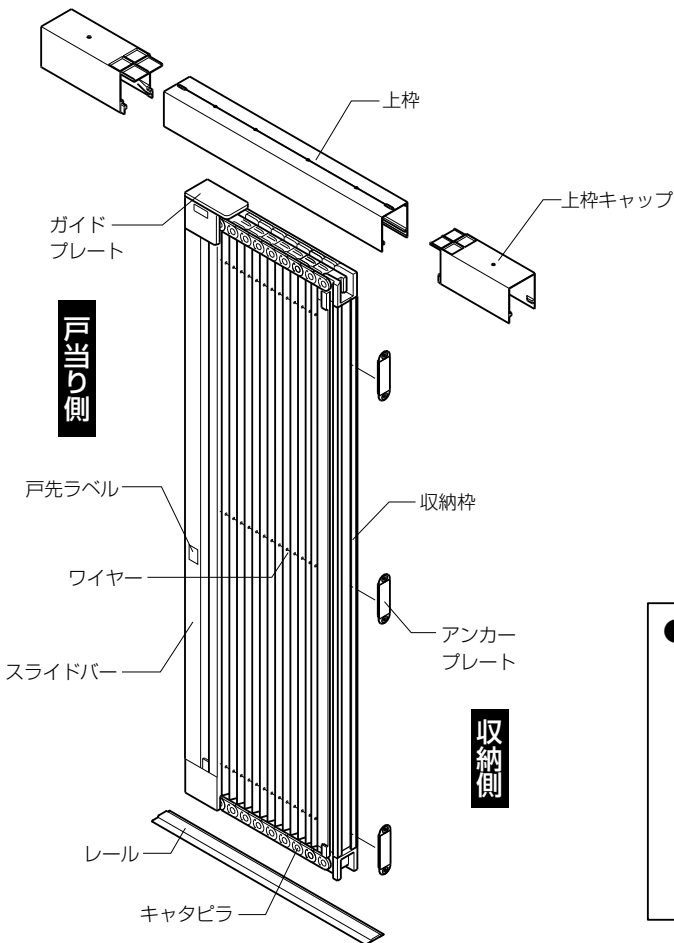
●網戸取付け材セット

名 称	略 図	員数	名 称	略 図	員数
上補助枠		1	見切り材		1
縦補助枠		LR各1	コーナーピース		LR各1
縦補助枠アタッチメント		2	皿テクスねじφ4×50	-	19
			ナベテクスねじφ4×16	-	2
			皿テクスねじφ4×13	-	10
上補助枠取付け材		1	ナベ小ねじM4×8	-	8
			ナベ小ねじM4×6	-	37
縦補助枠取付け材		2			

■構造説明図

■姿図

●網戸 本体

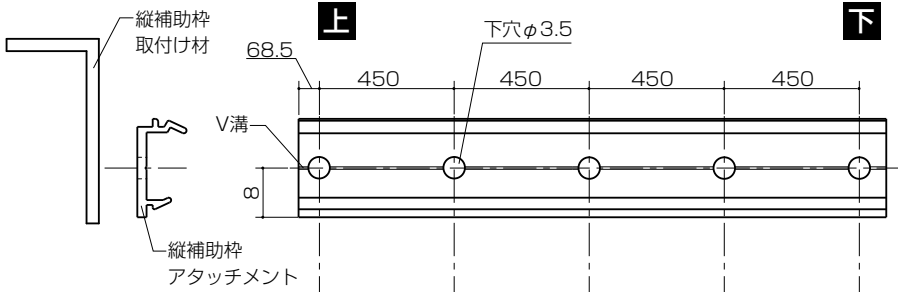


■取付け順序

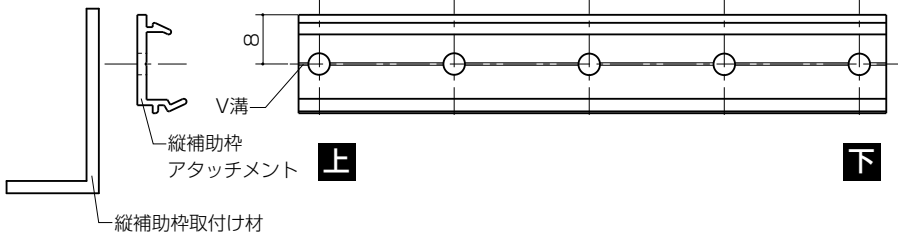
1 縦補助枠アタッチメントの取付け

■縦補助枠アタッチメントの加工

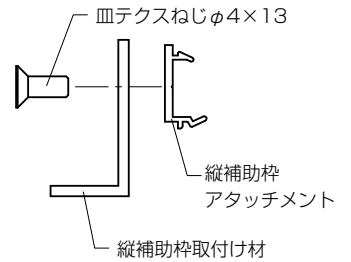
●内観右用



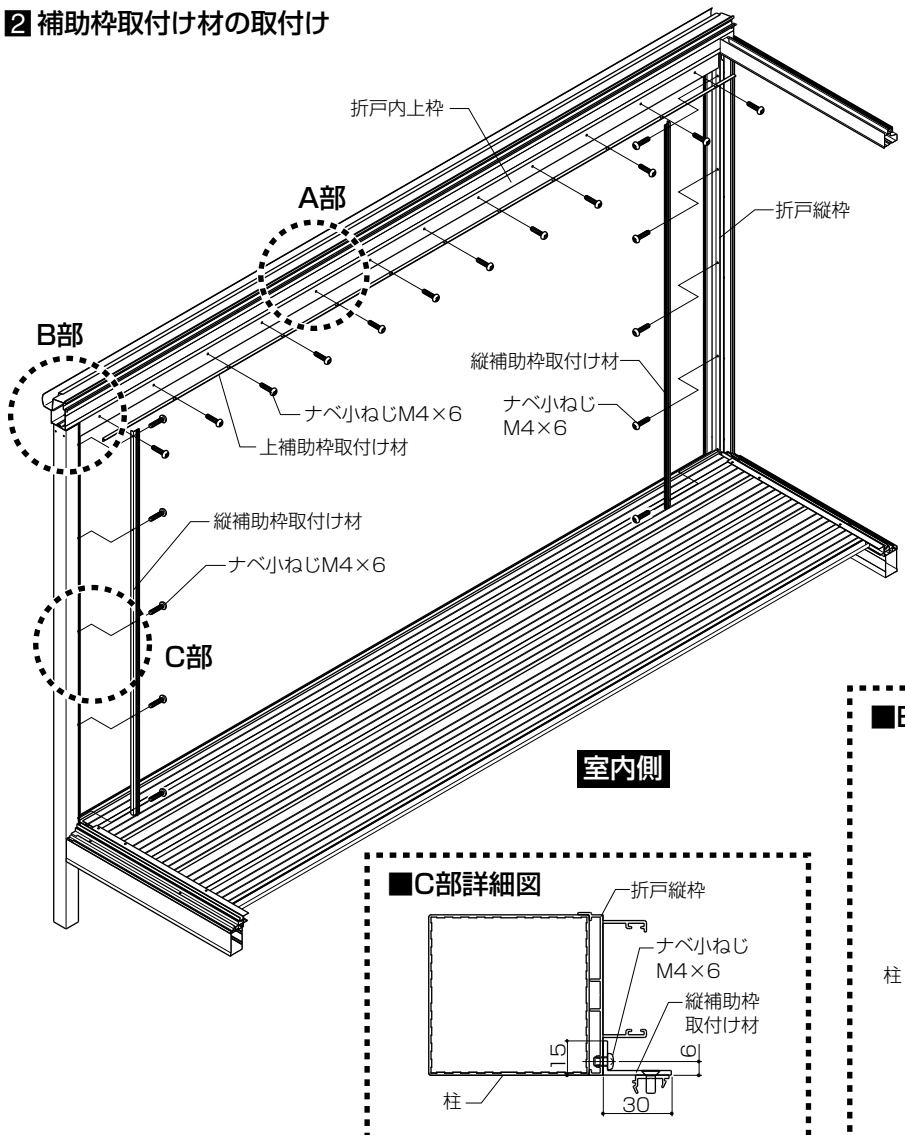
●内観左用



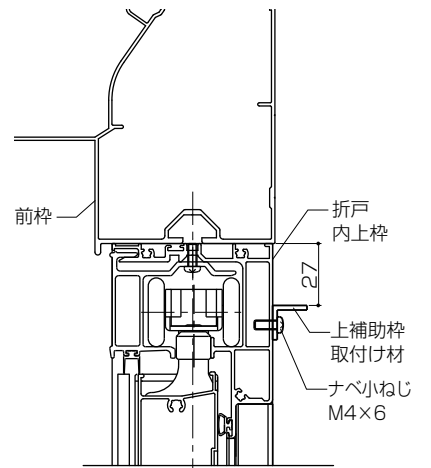
■縦補助枠アタッチメントと縦補助枠取付け材の固定



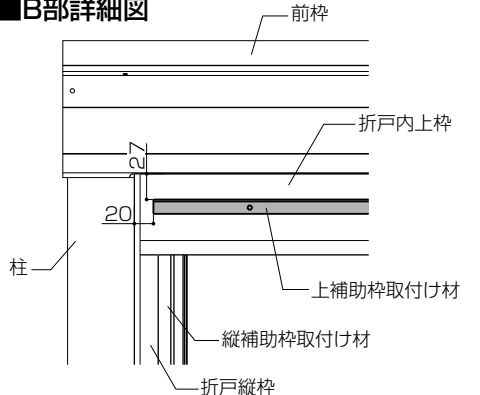
2 補助枠取付け材の取付け



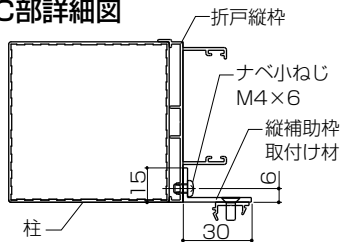
■A部詳細図



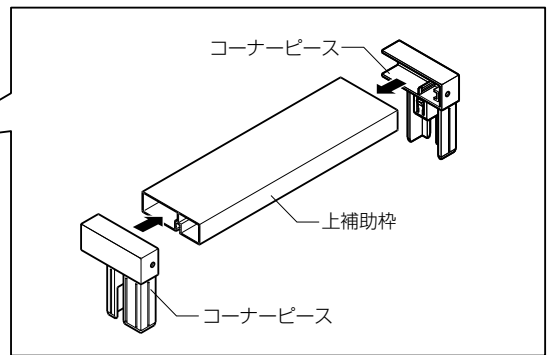
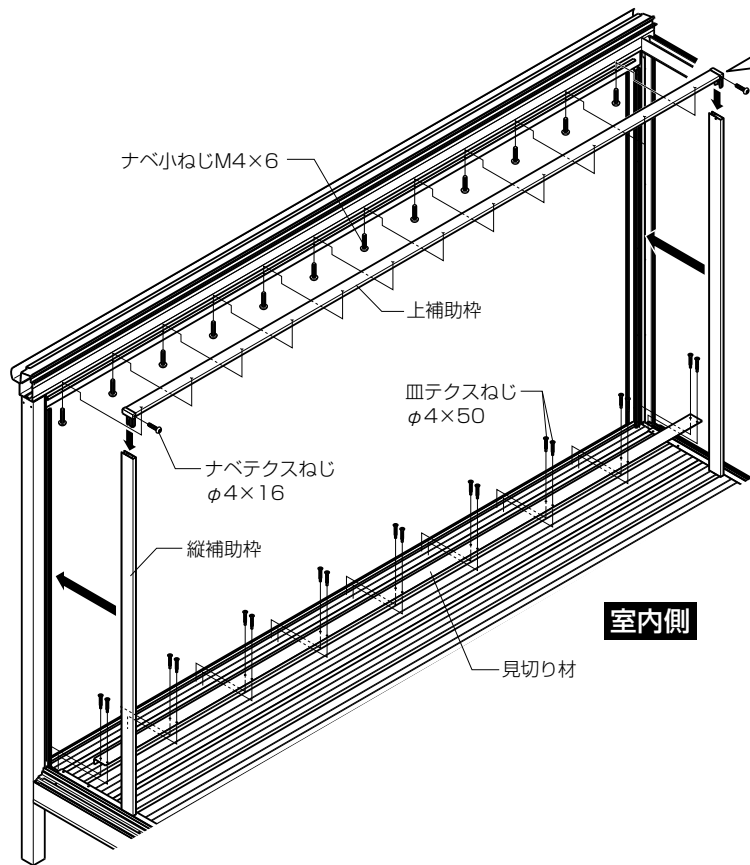
■B部詳細図



■C部詳細図



### ③ 縦補助枠・上補助枠・見切り材の取付け



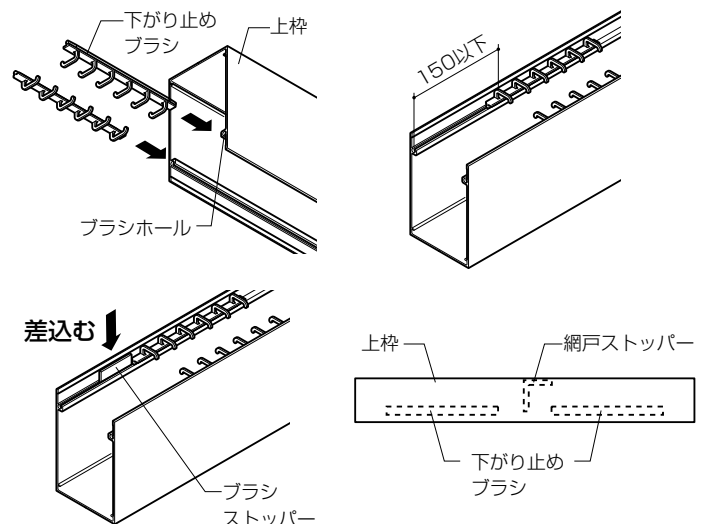
#### ▲ 注意

- はめ込み後、必ず縦補助枠を手前に引き確認してください。
- はめ込み後、必ず上補助枠を上方に押し確認してください。

### ④ 下がり止めブラシと上枠キャップの取付け

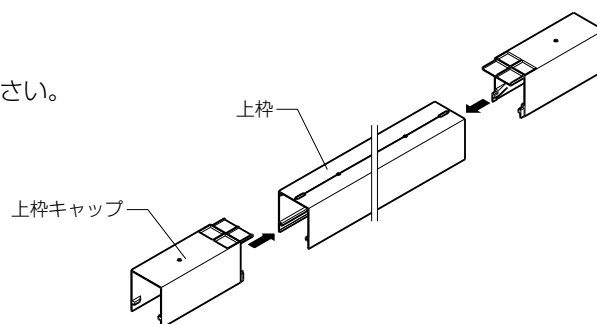
#### ■ 下がり止めブラシの取付け

- ① 下がり止めブラシを上枠のブラシホールに挿入してください。
- ※ 両側のブラシホールに同数挿入します。
- ② 下がり止めブラシは、上枠のほぼ中央にくるようにしてください。両端の下がり止めブラシが無いところの寸法が150mm以下の場合には下がり止めブラシを1つ外してください。
- ③ ブラシストッパーのリケイ紙をはがしてください。
- ④ ブラシホールにブラシストッパーを差込み上枠内側に張付けて下がり止めブラシを固定します。
- ※ ブラシストッパーに上下はありません。
- 網戸ストッパー位置に合わせて、下がり止めブラシを振り分けてください。

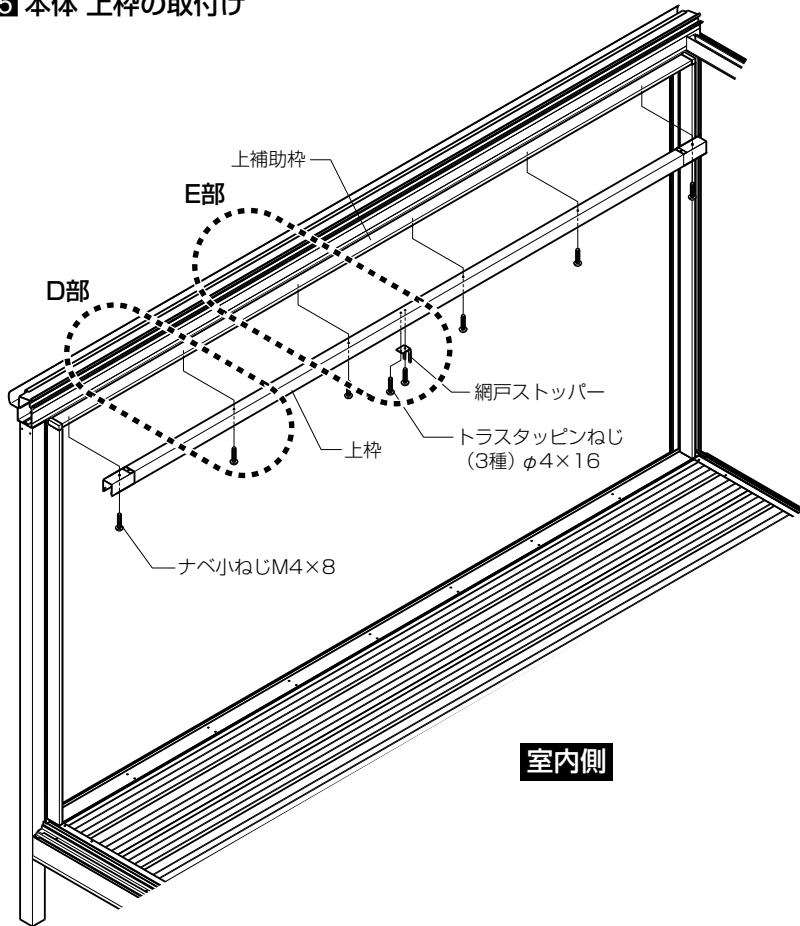


#### ■ 上枠キャップの取付け

- 上枠キャップを上枠の両端に差込んでください。



## 5 本体 上枠の取付け

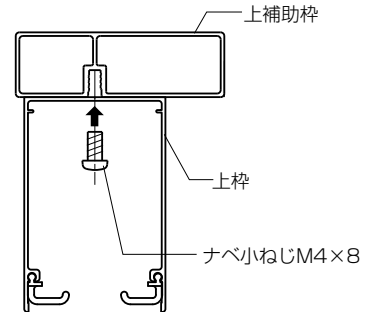


室内側

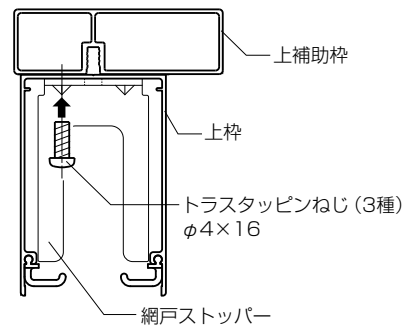
●お願い  
※上枠は左右均等に取付けてください。

### ■D部詳細図

●網戸取付け材セット内のねじを 사용합니다。網戸本体の部品セット中の上枠取付け用ねじは、使用しません。

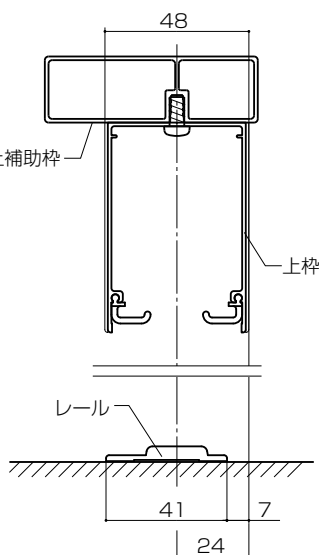


### ■E部詳細図



## 6 レールの取付け

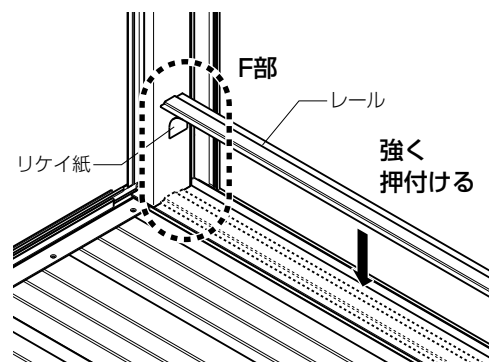
●お願い  
※上枠とレールは、センターラインを合わせて取付けてください。センターラインがずれると、作動不良になるおそれがあります。  
・レールの幅は41mmです。



●レールの両面テープのリケイ紙をはがし、床に強く押付けて圧着してください。

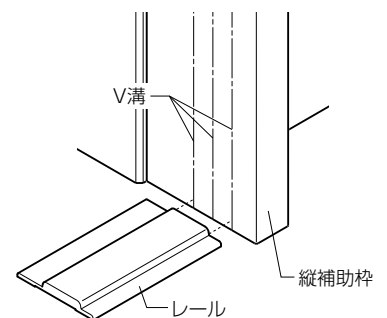
### ▲注意

●張直しをすると接着力が低下しますので、位置を決めて取付けてください。



### ■F部詳細図

●縦補助枠には、3本のV溝がありますが、外々のV溝にレールを合わせてください。



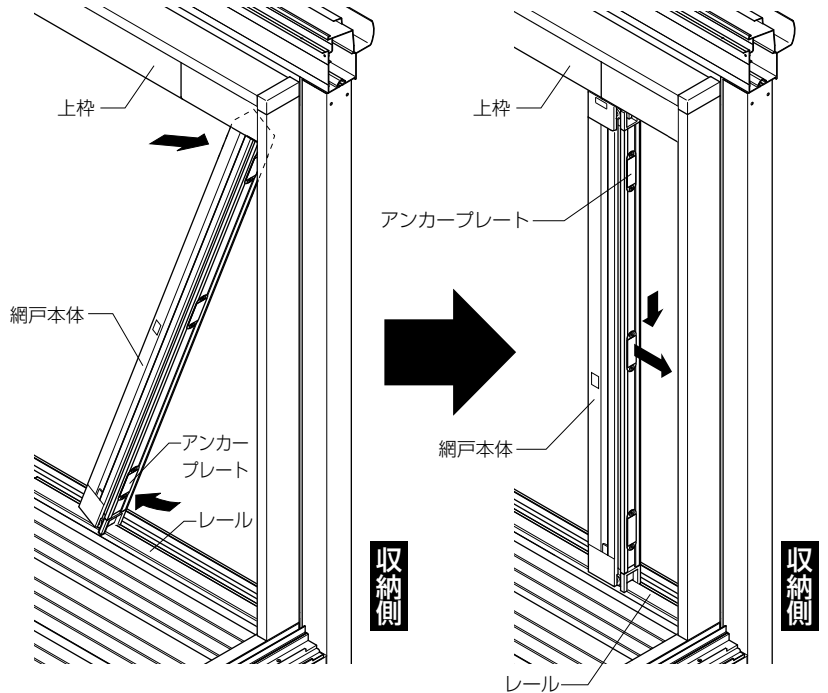
## 7 本体の取付け

- ① 製品本体の上下を確認してください。  
「上側」シールを上にしてください。

### お願い

- ※上下を逆に取付けると、作動不良になります。
- ※取付けが完了するまで、製品を開閉させないでください。キャタピラが外れるおそれがあります。

- ② 製品本体がレールから浮かないように、レール側に押付けながら、収納側の取付け面に押付けてください。
- ③ 網戸本体の収納枠に両手をかけ、戸当り方向に引っ張ると取付け枠から製品が外れます。このとき、端部から順に外すと簡単です。



- ④ 収納枠に付いていたアンカープレートは両面テープにより仮止めされますのでタッピンねじで固定してください。

### お願い

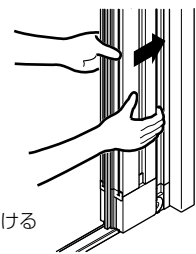
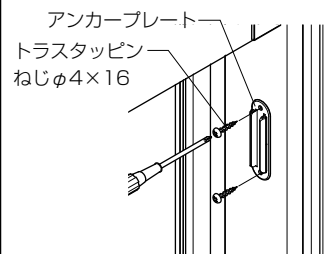
- ※ねじは必ず手で止めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用するとアンカープレートが変形する場合があります。

- ⑤ 製品本体の取付け時と同じ要領で製品が浮かないように収納枠をアンカープレートの突起に合わせ、押付けるとはまって固定されます。

## ▲ 注意

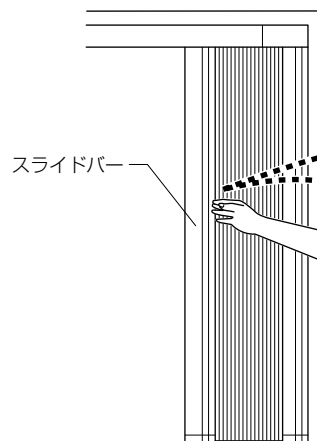
- 取付け後、収納枠を引き、外れないことを確認してください。

### ●アンカープレートの固定

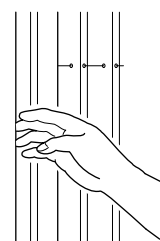


## 8 作動確認

- スライドバーの手かけに手をかけ、作動を確認してください。異常(大きなガタツキ・蛇行・外れなど)がある場合は、説明書の各手順を確認し、修正してください。
- ※両側とも確認してください。



- 開閉はスライドバーの手かけ部に手をかけて行います。

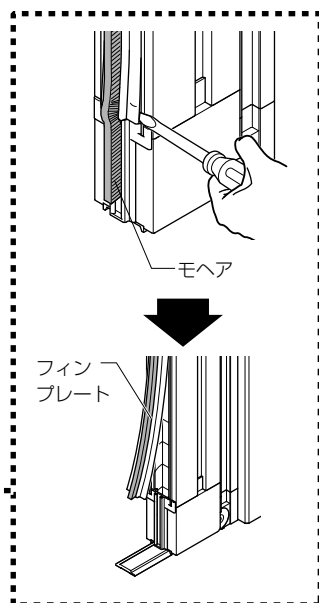
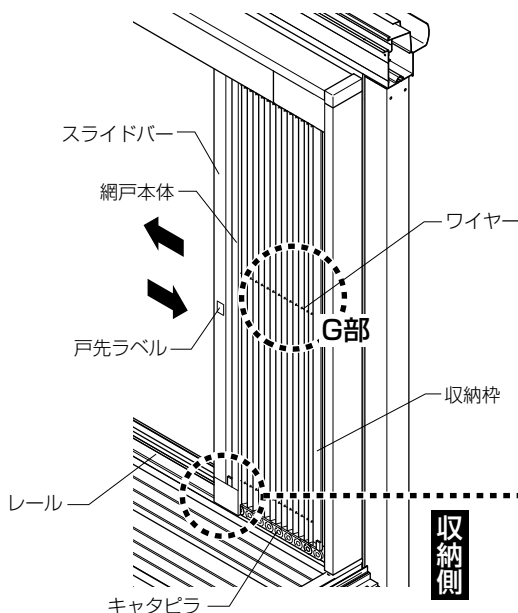


■製品取付け後、スライドバーと戸当り側取付け面の間又は網戸合掌部にすき間ができる場合

【スライドバーの建付け調整】

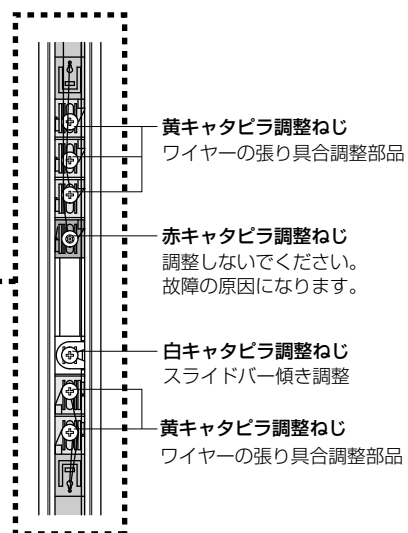
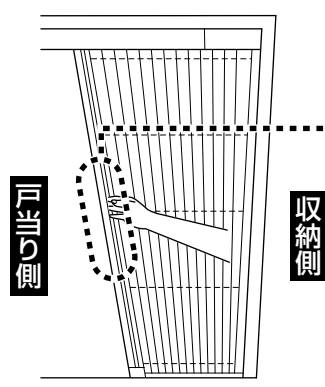
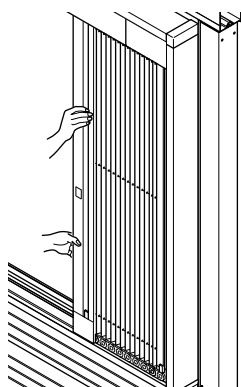
※調整する場合は、モヘア付きの製品を調整してください。

- ①スライドバーの建付け調整ねじは、スライドバーの内側にあります。スライドバーに付いているフィンプレートを外してから調整します。
- ②スライドバー戸先面に付いているフィンプレート下部のモヘア溝の中にマイナスドライバーの先端を斜めから差し込み、持ち上げるとフィンプレートがスライドバーから外れます。外れた部分を持って下から引きはがすようにして上まで全部外します。



※黄キャタピラがある場合は両側収納仕様になり、黄キャタピラがない場合は片側収納仕様になります。

- ③スライドバーの傾きを調整するねじとワイヤーの張り具合を調整するねじの位置を確認します。
- ④白キャタピラの調整ねじをゆるめます。
- ⑤スライドバーの傾きを調整します。
- ⑥白キャタピラの調整ねじを締付け固定します。



お願い

※ねじは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますとねじが破損する場合があります。

※調整後は、次頁の【ワイヤーのたるみの確認・調整】を実施してください。

■操作性が悪くなった場合

<スライドバーが収納側に戻る>

●収納枠の調整ねじでワイヤーの張りが強くなるように調整します。収納枠上側のシルバー色のねじは、ねじをゆるめてから、下へ移動させて固定します。下の茶色のねじはねじをゆるめてから上へ移動させて固定します。

ワイヤーの張り具合は次頁の【ワイヤーのたるみの確認・調整】で点検してください。

※ワイヤーを強く張ると開閉力は重たくなります。

<開閉が重い>

●収納枠の調整ねじでワイヤーの張りが弱くなるように調整します。収納枠上側のシルバー色のねじは、ねじをゆるめてから、上へ移動させて固定します。下の茶色のねじはねじをゆるめてから上へ移動させて固定します。

ワイヤーの張り具合は次頁の【ワイヤーのたるみの確認・調整】で点検してください。

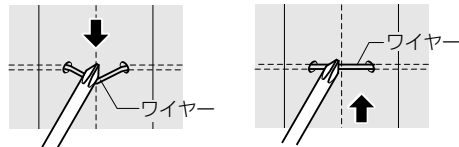
## 【ワイヤーのたるみの確認・調整】

①スライドバーをいったん戸当り側に動かしてから40mmぐらい収納側に戻します。

②ワイヤーにボールペンやドライバーの先端を軽くのせ、たるみを確認します。  
すべてのワイヤーについて右図（G部詳細図）のように確認し、すべてのワイヤーが同じ張り具合になるまで調整を行います。

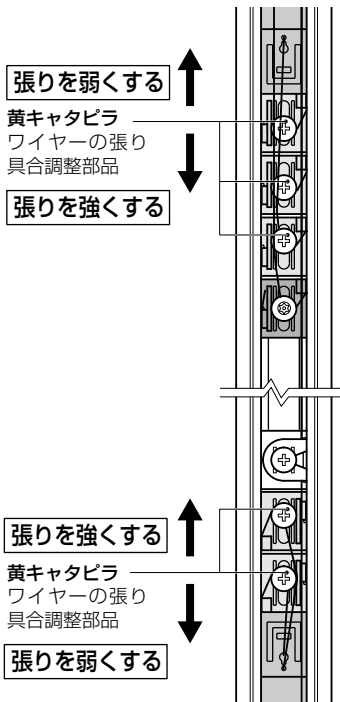
### ■ワイヤーの確認方法（G部詳細図）

- ①ドライバーをワイヤーに軽くのせます。  
※ワイヤーがたるまない場合は張り過ぎです。
- ②ドライバーをワイヤーから離します。
- ③ワイヤーが元に戻ります。

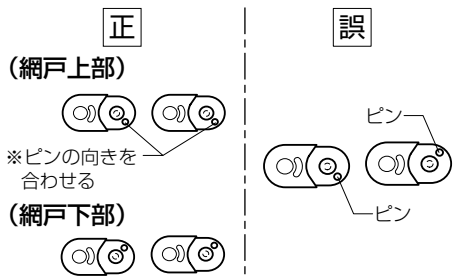


③調整は黄キャタピラの調整ねじを上下に動かして行います。

※ワイヤーを張り過ぎると作動不良になり上下のキャタピラが外れる場合があります。外れた場合は、はめ直してください。複数箇所外れた場合は、キャタピラのピンを同じ向きにしてはめ直してください。



### ■キャタピラの向き

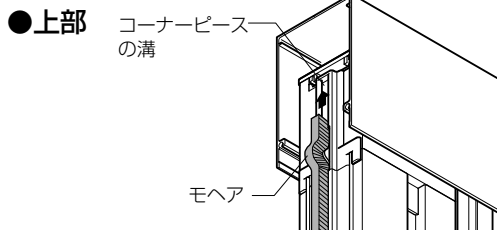
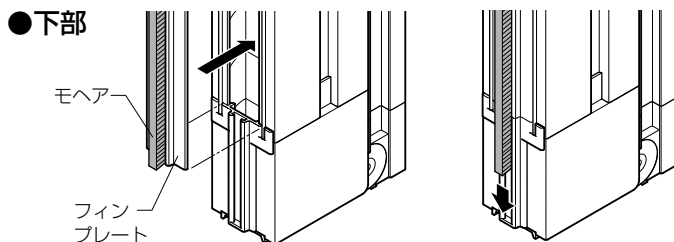


### ■キャタピラのはめ方



■すべての確認が完了したらフィンプレートを取付けてください。

- ①フィンプレートとモヘアの先端を合わせ、スライドバー下部の溝に合わせ押付け取付けます。
- ②モヘアをスライドさせコーナーピースの溝に差込みます。
- ③下から順にフィンプレートをスライドバーに押付け取付けます。
- ④上部にあまったモヘアは曲げてコーナーピースの溝に差込みます。



### お願い

- ※本製品はガラガラと音がしますが、故障ではありません。
- ※油などの潤滑剤は使用しないでください。ホコリなどが付着し、故障の原因となります。
- ※ワイヤーは1本ずつ調整してください。
- ※すべてのワイヤーが同じ張り具合になるように調整してください。

取説コード

Z311